

福井港^振



福井県土木部港湾空港課

〒 910-8580 福井市大手 3-17-1

☎ 0776-21-1111 (代) ☎ 0776-20-0488 (直通)

URL : <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kouwan/index.html>

1. 概況

〈沿革〉

福井港は、旧名を三国港と称し、越前、加賀の豊かな穀倉地帯を背後にもち、敦賀港と共に日本海側有数の港として栄えた。日本海航路の要地として多くの北前船で賑わい、九頭竜川上流の新田開発により米をはじめとした物資が九頭竜川の流れに沿って集まり、越前の集積地として繁栄していた。

しかし、あばれ川と言われている九頭竜川の河口港であるため、多量の流下土砂による港口閉塞に悩まされていた。それで、明治8年オランダ人である内務省技師エッセル氏により、九頭竜川改修を兼ねた港湾改修計画が策定された。延長500mにおよぶ捨石防波堤（いわゆるエッセル堤）の築造が行われ、西洋の技術を取り入れた我が国最初の近代港湾工事として、特筆されるべき大工事であった。エッセル堤は、三国港突堤として平成15年、国の重要文化財の指定を受けている。

明治30年北陸線の開通によって、物資の輸送は、漸次舟運から陸運に移り、船舶も大型化したため、時代の進展に取り残され、港勢は衰退の一途をたどった。

このため大正9年以来、県は航路維持をはかるべくポンプ船を常置し、港口維持に努めた。これにより大正12年には、1,000t級の船舶の入港が可能となり、石炭を始めとして取扱貨物量は約12万tにおよんだ。この間、大正11年には指定港湾となり、国においても重要視された。

その後、世界大戦により、ポンプ船の活動も思うにまかせず、港口が閉塞して、小型船および漁船の根拠地として利用されるにすぎなくなった。さらに、昭和23年6月この地方を襲った福井大震災により、港湾施設は大きな被害を受け、港湾機能は麻痺するに至った。

しかし、その後の数次にわたる改修工事により復興し、昭和38年には取扱貨物量も戦前の最盛期を凌駕し、昭和49年には121万tにも達した。

その間、県は、繊維産業を主力とする内陸工業に加えて、

付加価値の高い基幹産業の導入による産業構造の改善と県民所得の向上を図るため、九頭竜川左岸に広がる三里浜に臨海工業地帯の造成を計画し、昭和46年3月港名を福井港と変更、昭和46年6月港湾審議会第46回計画部会では『福井港湾計画』が新たに承認された。そして、昭和46年7月には重要港湾の指定を受け、掘込港湾の建設に着手した。

その後約20年の歳月をかけて、外郭施設として南防波堤、北防波堤、また公共係留施設として-10m岸壁3バース、-7.5m岸壁5バース、-7.5mドルフィン1バース、専用係留施設としてドルフィン3バースの建設を完了し、北地区が概成した。昭和61年には福井石油備蓄基地へのオイルインを開始した。その後、平成13・14年に相次いでセメントサイロが完成し、セメントメーカー3大グループのセメントサービスステーションが稼動するようになった。

〈近年の状況〉

アルミニウム、石炭等の輸入増に伴い、平成17年4月には、待望の関税法上の開港をはたし、無線検疫港の指定を受けた。また、同時期にプレジャーボート等の不法係留対策として建設された「福井港九頭竜川ボートパーク」が供用開始し、坂井市（旧三国町）等が出資する第3セクターによる運営が始まった。平成26年には、地域高規格道路である福井港丸岡インター連絡道路が都市計画決定され、現在整備を進めている。この道路が完成すると、北陸自動車道丸岡インターから福井港へ向かう物流が円滑化され、福井港と福井港に隣接する県内最大の工業団地テクノポート福井の発展が見込まれている。

また、平成27年には、中部縦貫自動車道が北陸自動車道と接続されたことから、中部縦貫自動車道の整備が進むことで中京圏との物流環境が大幅に改善され、更なる利用拡大が期待される。

福井県では、嶺北地区の物流拠点港および工業港としての重要な役割をはたすべく施設の充実を進めるとともに、ポートセールスを展開して港湾の振興に努めていく。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	85	451,639			7	97,763	13	113,446
内航商船	1,179	943,542						
自航 その他	649	32,265						
合計	1,913	1,427,446			7	97,763	13	113,446

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	41	194,955	24	45,475				
内航商船	190	800,678	13	32,025	51	42,470	925	68,369
自航 その他			1	2,043			648	30,222
合計	231	995,633	38	79,543	51	42,470	1,573	98,591

最大入港船舶のトン数 18,465 総トン（喫水 8.0m）

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	96,988	100.0					2,800	2.9	78,020	80.4
輸入	239,327	100.0			2,375	1.0	170,144	71.1		
計	336,315	100.0			2,375	0.7	172,944	51.4	78,020	23.2
移出	12,219	100.0					6,000	49.1		
移入	910,065	100.0	306	0.0			39,660	4.4	7,421	0.8
計	922,284	100.0	306	0.0			45,660	5.0	7,421	0.8
合計	1,258,599	100.0	306	0.0	2,375	0.2	218,604	17.4	85,441	6.8

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出							16,168	16.7		
輸入	66,808	27.9								
計	66,808	19.9					16,168	4.8		
移出							6,219	50.9		
移入	862,678	94.8								
計	862,678	93.5					6,219	0.7		
合計	929,486	73.9					22,387	1.8		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路	133,578	66,789	66,789
計	133,578	66,789	66,789

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面 水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟数	使用 面積 (㎡)	
(公 共)											
本 港 地 区	北1～3号岸壁	10	555	15,000	3				2	3,000	セメント、石炭 金属くず、アルミ 重油、石油製品
	北4～8号岸壁	7.5	650	5,000	5						
	北10号岸壁	7.5	130	5,000	1						
	北-5.5岸壁	5.5	180	2,000	2						
	北耐震岸壁I	5.5	100	2,000	1						
	公共ドルフィン	7.5	188	6,000	1						
三 国 港 地 区	漁連前棧橋	5.5	82		1				2	905	水産品
(専 用)											
本 港 地 区	石油1号ドルフィン (石油会社)	7.5	138	6,000	1						重油、石油製品
	北電1号ドルフィン (北陸電力(株))	7.5	133	6,000	1	クローラC	120	2			重油
	北電2号ドルフィン (北陸電力(株))	7.5	157	6,000	1						原油
	一点係留ブイ (福井石油備蓄(株))	45.5		300,000	1						

保 管 施 設		
区 分	棟数	面積・容量
野積場 (石炭)	1	15,568㎡
(ク)	9	134,192㎡
普通倉庫		
1～3類倉庫	-	-
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	2	22,000t
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊 地		
区 分	水深(m)	面積(㎡)
錨泊地	-	-
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港 湾 関 連 施 設	
名 称	延床面積(㎡)
旅客ターミナル	-

臨 港 交 通 施 設	
名 称	総延長(m)
臨港道路	13,914
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

区分 名称など	施 設 規 模			収 容 能 力				上下 架施設 (能力、 基数)	泊地 水深 (m)	開設 年度	関連施設	
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤 延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボート ヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮棧橋 (隻分)					固定 棧橋 (隻分)
㊤福井港九頭竜川 ボートパーク 〒913-0031 坂井市 三国町新保95-1-6 ☎0776-82-6066	21,000	13,600	-	377	280	-	97	-	ウインチ 5トン1基 10トン1基	3	平成17 年度	

6. 緑地

名 称	区 分	面 積 (㎡) (植栽率 - %)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施 設	
						利用施設	附属施設
海浜緑地		19,405	-	海浜緑地	昭和56年度		
港湾環境緑地		18,436	-	道路沿緑地	昭和56年度		
海岸緑地		53,699	-	海岸緑地	昭和59年度		

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

曳船

名 称	所 在 地	電話番号	馬 力	隻数
(株)三国	〒913-0031 坂井市三国町新保40-6	0776-81-3600	3,600	1

9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
名古屋出入国在留管理局福井出張所	〒910-0019 福井市春山1丁目1-54 (福井春山合同庁舎内)	0776-28-2101
大阪税関敦賀税関支署福井出張所	〒910-0019 福井市春山1丁目1-54 (福井春山合同庁舎内)	0776-22-1832
大阪検疫所敦賀出張所	〒914-0079 敦賀市港町7-15 (敦賀港湾合同庁舎内)	06-6571-3521
名古屋植物防疫所伏木富山支所 小松空港出張所	〒923-0993 石川県小松市浮柳町㊦21 (小松空港庁舎内)	0761-24-1406
中部運輸局福井運輸支局	〒918-8023 福井市西谷1丁目1402	0776-34-1601
敦賀海上保安部福井海上保安署	〒913-0032 坂井市三国町山岸50-2-2	0776-82-4999
福井県福井港湾事務所	〒913-0037 坂井市三国町黒目32-2-1	0776-82-1120

福井港

